

第15回 石油に関する市民講演会

日時 2025年 2月9日(日)

午後1時 受付開始 午後1時30分開演 午後4時終了予定
なお、12時から会場前でポスター展示を行います



会場 クロスパルにいかた (新潟市生涯学習センター)
4階 映像ホール

新潟市中央区礎町通3ノ町2086 電話 025-224-2088
JR新潟駅万代口より徒歩20分程度
バス・古町方面行「礎町」又は「本町」下車、徒歩3~5分
駐車場に限りがあります。自家用車でのご来館はお控えください

演題 縄文時代における新津丘陵産アスファルトの利用

講師 前山 精明 氏 (新潟市文化財センター学芸員)

新津丘陵産アスファルトの利用の始まりが新津丘陵に定住集落が生まれた5,500年前まで遡ることが平遺跡の調査でわかりました。以来3,000年間続く縄文人とアスファルトの関りを発掘調査の成果をもとに考えます。

演題 石油を通して見る地球と社会
～脱炭素社会の時代はどこへ～

講師 栗田 裕司 氏 (新潟大学理学部准教授、石油の世界館友の会会長)

石油は便利なエネルギー源であるとともに、自然界で起こる地球と生命の関係や、現代社会をひも解く重要な鍵でもあります。新津油田の歴史に触れつつ、炭素循環、資源・人口・経済問題、そしてこれから本格化する脱炭素の動きの関連性を考えます。

定員 先着100名(申込み不要)

資料代 300円(入場は無料)

問合せ 新潟市 秋葉区役所 地域総務課

電話 0250-25-5671 Fax: 0250-22-0228

主催 石油の世界館友の会、新潟市

後援 新潟日報社、新潟県天然ガス協会

